

全員協議会会議録

1. 日 時 平成27年7月27日(月)
11時42分開会 13時56分閉会
2. 場 所 役場3階第2委員会室
3. 出席議員 鈴木孝寿・桜井崇裕・北村光明・高橋政悦・佐藤幸一・木村好孝
原 紀夫・口田邦男・中島里司・奥秋康子・安田 薫・西山輝和
議長：加来良明
4. 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：渋谷直親
5. 説明員 町長：高薄 渡 副町長：金田正樹 総務課長：小笠原清隆
子育て支援課長：真野 篤
6. 議 件
 - (1) 町長からの申し出事項
御影保育所給食に関するその後の経過について
 - (2) 議会運営委員会からの報告事項
委員会での休憩について
 - (3) 議会報告会と町民との意見交換会について
(質疑・提言等の振り分け、反省総括等)
 - (4) その他

加味議長：臨時会終了後でお疲れのところだと思うが、全員協議会を開催する。議件については3項目で、さっそく(1)の町長からの申し出事項に入っていく。

(1) 町長からの申し出事項

加味議長：御影保育所給食に関するその後の経過について、担当課の方から説明願う。

真野課長：御影保育所給食に関するその後の経過について報告する。まず、7月1日水曜日、御影保育所の給食で検出した鶏肉とアスパラのミルク煮の中に鶏の骨破片が1個混入した件で、納入業者を通じて製造工場にも混入等の原因調査を依頼し、先般、その結果が届いたので報告させていただく。内容については、工場では骨や軟骨は原料肉の目視や触診によって検品し、万全を期して製造していたが、このたびは見逃して製造してしまったものということです。今後の対応としては、工場側としても解体、検診対象者に対し、肉全体の目視や触診にて検品する内容です。また、5月30日にホチキスの金刺混入した件については、まだ原因の究明には至っていない。しかし、保護者の中にはお子さんの健康管理を心配されている方もいたので、関係する医療機関を受診を勧めさせていただき、児童3名が町内の診療所で診療した。その後、体に大きな影響はないという報告を受けている。

以上、御影保育所給食に関するその後の経過についての報告とさせていただきます。ご迷惑をかけて申し訳ございませんでした。

原議員：混入した骨の破片のことについては理解をする。ホチキスの関係ですが、我々に説明した以降、どういう手を打っているのか。

真野課長：業者等に聞き取りも行い、前に報告をさせていただいたがその後においてマニュアル等の検査を所長以下、実際に調理する調理員も含め、また保健師出課の栄養士からも助言をいただきながら7月10日以降に各施設に配付した。マニュアルを配って終わりではなく、7月1日以降にもお話をしたが、現場の調理員も含めて毎日混入や異物がないか細心の注意を払いつつ安全を期している。また、今回、骨が製造過程で発見されたということもあり、町内の保育所等も含め11カ所巡回先としてある。業者には最善の注意をお願いしたいという依頼文を出しているし、現場としては一生懸命安全な給食の提供に対して努力している。

原議員：ホチキスの件で3名のお子さんが病院へ行ったということで、努力されているのはわかる。以前の議会のときにも申し上げたが、どんなに素晴らしいマニュアルをつくってもこれだけのものを守るのは大変なことで、絶対にこれを守れば異物は入りえないというくらいのものだと思う。よく読んだが、守る方も大変だと思ったが、故意に入れるとなると、どんなに素晴らしいマニュアルがあっても不可能に近いと思う。ホチキスは子どもが飲み込んで、使用済みだったから出てよかったものの、大変なことになったと思う。したがって、あの時こ然るべき手続きを取って調べてもらってはどうかと言ったのはそこにあるので、今後、二度と出ない仕組みが、内部も含めて何か問題があったりしていないのかという心配をしているので、あえてこの場で言わせていただきたいと思って発言をしている。

真野課長：ご意見も含め私どもも十分冊に銘じている。マニュアル等でも全部の故意とは限らないが、そういう場合によっては理事者側とも協議をした中で、警察等も含めて依頼をするということマニュアルでもうたっている。基本になるのはあくまでも学校給食センターのマニュアルを重視しながら準じてやっているが、マニュアルができたからそれでいいというのではなく、現場は一生懸命やっているのだからプレッシャーをかけないでやっているつもりなんですけれども、今回、除菌等のエアコンで整備させていただいて、頭もすっきりとし、現場をよく理解しながら実施できるように改善しているので、その辺のご理解をいただきたい。

北木議員：安全管理マニュアルをつくって、それを徹底していくように職員も注意を払っていくというのは当然だが、御影保育所もですが、業者のものによって起きた場合、その後の業者との関係はどうしていくのか。今後しないようにしてほしいというだけなのか、そこら辺で清水町は分かれていると思う。今日は保育所の関係だが、給食の関係も納入業者との関係、設定の権限や管理決定、指導の責任者をはっきりしていないのではなかろうか。そこら辺をあいまいにしたまま、全員わかったか、わからなかったかがあったと思うが、そこをそのままにしたまま推移していくとまた起きると思うが、その辺はどう思うか。

加味議長：学校給食については担当がないので、保育所の関係だけでお願いします。

真野課長：今回、鶏の骨が入っていたということで、先ほども製造過程の中で混入したということだった。一応納入業者の方には小分けの際は細心の注意を払ってほしいという内容の依頼文を持って行った。北木議員がおっしゃったような納入禁止などは考えておりません。どうしても、他の小売店から同じような品物で、製造工場と同じものが入るのであれば、現場の調理員と町の栄養士が蒞立の材料を確認しながら随時納入しているのだから、ここのお店まじばらくやめようというようなことの指導は可能だと思う。そのへんについては状況を見てやっていきたいと思うが、今回は骨の破片ということでそこまでは考えていない。

金田副町長：今、担当課長が処分は考えていないという言い方をしているが、全くそういうことではない。例えばこれが工事だった場合、なぜか火事が出て事故が起こったとなると、給食が停止になるので、同等と考えてもいいのではないかと。大げさにするつもりはないが、「申し訳ありませんでした」で終わりであれば、また起きますので、もっと慎重に例えば、今後そういうことが起こらないような対策などの報告を受ける予定です。

加来議長：町長からの申し出事項はこれで終わらせていただく。

【休憩 11:53】

(執行側出席)

【再開 11:54】

(2) 議会運営委員会からの報告事項

加来議長：委員会での休憩についてを議会運営委員長の中島委員長より説明願う。

中島議員：(2)の委員会での休憩の取り方ということでお願いをしたい。委員会の会議録をホームページに載せているが、委員会の運営の中で意見調整のために休憩を取っていたという経過があった。休憩を取って自由討議にした経過もあるが、再開すると委員会の記録上結論だけ話しているので、休憩で協議をしていた部分が記録に残らない。今後は会議録の公開を考慮して休憩は資料の一読あるいは個人情報が発言がある場合などに限定をして、意見調整は休憩せず、委員長の方から自由討議も活用しながら委員会の運営を行うこととした。皆様のご理解とご協力を願う。

原議員：休憩なしで続けてやるとなると相当努力をしなければならぬという気がするが、今回新たに導入した機器の関係でということか。

加来議長：機器ではなく、情報公開で議事録を読むと休憩中に意見調整をするため、再開後に話がつかない。そういうことをなくすためにできるだけ公の質疑をしてほしい。

原議員：わかりました。

中島議員：結論を出すために重要な意見交換をしているので、それらを委員長の採択によりお互いの意見をしっかりと伝えるような状況をつくり、公開して町民が見たり聞いたりする時によりわかりやすくしていくべきではないか。個々で意識をしっかりと持ち、町民のわかりやすい委員会の運営の努力をお願いしたい。

北木議員：委員会では休憩する場合は、資料等の字句の問題だったか。

中島議員：一読といったのはご依頼や意見書、一般質問の通告文書は休憩をして先に読んでから意見をいただくという意味です。

加来議長：(2)の議事については終了させていただきます。

【休憩 12:00】

【再開 13:00】

(3) 議会報告会と町民との意見交換会について

中島議員：議会運営委員会での振り返り、質疑・意見等の振り分けを配付させていただいているのでご報告をしてご審議いただきたいと思う。

意見提言等の振り分けについては議会運営委員会で議会対応欄に記載のとおり、総務文教常任委員会の調査・検討、産業厚生常任委員会の調査・検討、議会運営委員会で調査・検討、4番目に回答済み、5番目に回答できない内容、6番目に未回答と6種類の振り分けを行った。それらについても皆さんにご確認願う。なお、各委員会に対応を振り分けた項目は、今後それぞれの委員会で調査・検討を行い、最終的には事務局とも協議した結果、11月発行の議会だよりに結果を載せていく予定。また、昨年議会報告会と町民との意見交換会で執行側に対応を求めた3項目、1つ目は予算編成時の町民意見の聴取、2つ目、遊びの環境保育の勉強、3つ目、除雪の際に家の前に残った雪の塊の意見について、各委員会でその後の対応を検証してほしい。

お手元に事前に送付した資料によって意見を言っていただきたい。

加来議長：ただいま議会運営委員長から説明があったとおり、清水地区と御影地区の意見交換会の質疑・意見・提言等の今後の議会対応ということで、議会対応を議重で協議していただき、その結果で今後対応していただきたいと思うが、これでよろしいか。

(いゝとの声あり)

加来議長：議会対応はそれぞれの委員会で対応していく事に決定した。

また、昨年の町長に提言した件につきましても同じくそれぞれの委員会で所管対応をしていただくことでよろしいか。

(いゝとの声あり)

加来議長：そのように進めさせていただく。

次に反省総括について議会運営委員長の方から報告願う。

中島議員：全体的な部分として、それぞれの委員会ではこれから検討していただくが、議運としてはそれぞれ開催日時、開催場所、会場配置、役割の分担、周知方法、式次第、配布資料、議会報告の内容と時間について議運で検討した。その結果、開催日時については2年目でしたが同じような時期でよいのではないかと。開催場所については清水、御殿の2カ所でもよいのではないかと。会場の配置については、コの字型という意見もあったが、参加人員が分からないので従来どおりでやらざるを得ないのではないかとという話になった。役割分担については、正副委員長で答え、多方面にわたって議長からもご助言をいただきながら役割を果たし得たのではないかと思う。これも2年目にして大きな変化がなくてよいのではないかと。周知方法については、昨年と同様ということで、今のところは同じような状況のままでもよいのではないかとという考え方です。式次第については、司会進行をしていただいた安田委員が議運におられまして、進行の中で質疑と意見・提言等の聴取が一緒になってしまったという部分が反省点だとお話をいただいた。これらについては式次第に募って、司会者としては心得てやらなければならぬという安田委員からの意見だった。それを含め、次年度も同じような考え方でもよいのではないかとという意見です。配布資料については、前年並みということだが、説明の仕方を去年から変えた。そのへんについては参加者から特に指摘がなかったので、説明時間の短縮という部分からもこれでよいのではないかと。議会報告の内容については、今申し上げた説明の項目を大きくくりのなかで説明をさせていただいたということで、説明時間が短縮されたということでよかったのではないかと。9番目として質疑応答・意見提言の内容時間は先ほど申し上げましたとおり、参加者が少なくて時間が余ったのが清水地区、御殿地区お並び時間はちょっと足りなかったのかなと思いつながらも、際限なくやるということにはならないと思うので、午後7時から午後9時を目途として改善点を探してみようかと理解している。アンケート調査については、皆さんにお届けしていると思うが、本年は女性や20代、30代の参加者が多かったことで、若い方にもっと関心をもっていただければと思う。開催を知ったのは折込チラシが最も多く、一番効果が高いと現状では思う。議会報告でもわかりやすいが多くて安心しており、時間もちょうどよかったので、現状でよかったと理解している。質疑・意見・提言等も半分が良いとしているので、このままでよいのではないかと。議会だよりをよく読んでいるが84%で、議会報告会などの参加者は議会に高い関心を持っている。ホームページや参加者の平均年齢を見ると、こういう数字になるのは仕方ない。議会や委員会の傍聴も時々が47%で、これも参加者が高い関心を持っていると理解できる。議会議員に期待することは、町民の関心などいろいろなことがあるということもアンケートで読み取れる。また、要望や意見について、飲み物を提供してほしいとあるが、これは来年度に向けてその時期が来たら検討してもよいのではないかと。その他で参加者が減少したとの分析があるが、清水は少なかったので安田委員や西山委員はそれぞれの方で声をかけて出席を促したという話もいただいた。声をかけられた人は参加を促すことだと思うが、御殿の場合人数が減ったとはいえ、成果は上がったのかなと思う。奥秋委員からは、昨年は個人的な勧化を聞きたいという意見が多かったが、今年はそれがなかった。あくまでも議会報告という形をとるべきで、町民に2年目とはいえ、こちらの一定の意思は理解していただけたのではないかとという感想をいただいている。参加についてチラシ等で周知をしたからいいということではなく、議員個々で呼びかけをしていただき、多くの参加をいただいているいろんな意見をいただくという方向で努力していかねばならないということが、議運としてのトータル的な感想です。

加来議長：町民報告会の振り返りで検討していただいた点については、委員長の方から報告をいただいた。ここで、皆さんの方から議会報告会に対する意見、振り返り等があれば提言していただきたいと思う。①から順次やっていきたいと思うので、よろしく願います。

加来議長：①開催日時について何か意見はあるか。
(なしとの声あり)

加来議長：②開催場所については何か意見はあるか。
(なしとの声あり)

加来議長：③会場配置については何か意見はあるか。

鈴木議員：このまま①からずっといくと、まずこれを全て肯定してという形になると思うが、それを踏まえて③で言った。僕は今年初めてだが、昨年も同じ方の構成であると思われた。また、清水はあれだけ少なかった。そもそも論でいくと、この形がベストかと言われると違うと思っている。議員報告会自体があった方がよいのかない方がよいのか、まずはそこから話をした方がよいのではないかと。前からやられている諸先輩方の意見を聞いたうえで、どうしても必要だということであれば、どんどん話を進めていくべきだと思うが、いかがか。

奥秋議員：今、鈴木議員が報告会としてはベストではなかったという話だったが、今は③の会場の配置についての話だと思う。

加来議長：奥秋議員、その点については最後に皆さんで協議していただくので、会場の配置についての議論を聞く。議会運営委員会は議会運営委員会として協議していただいたので、それを踏まえた上で他の人の意見を聞き、今後に対応していきたいということでご理解いただきたいと思う。

他に意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：④役割分担については何か意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑤周知方法については何か意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑥次第については何か意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑦配布資料については何か意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑧の議会報告会の内容・時間について何か意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑨の質疑応答・意見提言の聴取の内容時間については何かあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑩のアンケート調査の結果について何か意見はあるか。

北村議員：アンケート調査は参加者に対して行われたアンケートという認識が必要だと思う。議会報告会や町民との意見交換会全般に関してのアンケートというふうに捉えてしまうのはちょっと違う。いろいろと意見はありながらも参加した方たちに対してやったアンケート結果であって、町民全体を反映していないというふうに私は思う。

加味議長：それを受け止めた上で議論している。

他に意見はあるか。

(なしとの声あり)

加味議長：⑪その他に入るが、議会運営委員会で検討した以外に何か意見はあるか。

鈴木議員の意見は最後に行く。

北村議員：清水地区の参加者が少なかったことを踏まえて御影地区では議員の方から声掛けをしたということで、その成果が上がったと私は思う。参加者が多くなるには議員が声掛けをする必要性は否定しないが、単にそれだけで参加者が少なかったという認識はできない。行事が重なっていたということもあるが、私の知り合いで来なかった人に聞かされたところ、「あんな報告会なら行ってもしょうがない」と言われた。先ほど鈴木議員が言われたように、昨年と今年のこのやり方でいんだという総括になってしまうのはどうかと私は思う。

加味議長：北村議員からこのままでいいのかという意見をいただいたが、鈴木議員の先ほど提言していただいた意見も含めて皆さんで議論してほしい。

鈴木議員：先ほど今回の形がベストではないという話をしたが、その理由としては北村議員も言われたとおり、議会として終わったことに対して過去1年分を報告するのはタイムリーではない。町民にとってもこれがいいのかどうかというと、よくわからないけど来た人や質疑の内容を見たときにも議会に対する内容ではなく、ある意味お洒落な部分になっているのも事実です。それを否定するわけではないが、本来議員が町民にやる部分であれば、報告ではなく一緒に物事を考えていくというやりの方が未来志向だと思うが、そういう形で来年以降までできないかなと考えたが、これについて皆さんとお話をさせていただければと思う。

口田議員：私も北村議員や鈴木議員と同じで、こういう内容では大してプラスにはならないからやめた方がいいのではないかと思うし、周りからも聞こえてきている。やるならば、内容をもっと研究し、これからの問題に対して意見交換をする場所として、何かのテーマを決め、先生を呼び、いろいろと講演をしていただき、会場にいる皆さんが質問し、清水町の将来はこうあるべきだといういろいろな議論の仕方をしてはどうか。

北村議員：口田議員の意見に私も賛同する。2回経験したことで、議会が町民の方に向いているという姿勢を町民が感じられるようなことを考えなければいけない。参加された方が言われていたのが、政策について一つのテーマをもち、議会としてやってほしい。理事者から提案があったときだけ賛否を答えるだけでは足りないという意見が多かった。

加味議長：報告会ということで過去の議会運営委員会で検討されたことは、町民に議員の活動を理解していただくということを目的にやっている。報告をまずして、意見交換会というふうに取り組んできているが、提言されたことも踏まえて今後については議会運営委員会で検討することよろしいか。

(なしとの声あり)

中島委員長：3人から意見をいただいたが、1人はベテランの部類で、2人は今回が初めて。私もいろいろと思いはあるが、立場的な部分から言って、2年で答えを簡単に出不せないので現実だと思う。検討するということについては、議会運営委員会では協議は可能だが、来年に向けて間に合うかということ、私は厳しいと思う。提言の原点は個々の議員です。全体で何かをしようというとなかなか出てこない。個々の議員から出されたものを協議していくという部分になる。報告会とは別の視点になるが、こういうことを議員にやってほしい。何を提言したらいいのか、町民の方はいろいろと言っていますが、それぞれ町民の方は支持している方や親しい方がいるので、その方にまず話をして、その意見を議員としてこういう場を持ち込んで協議していく

という流れがない限り、報告会で何かをということについては難しいと思っている。それぞれ立場や考え方が違うので、議会として成り立っている。全部一つことなれば議論は必要ではない。これはまちづくりのために皆で知恵を出し合ってまとめていく、あるいは実行していく、または実行できなかったということに持っているわけなので、意見として具体的なものがなければ動けない。先ほど「あんな報告会に行っても意味がない」と言われたら、「それはどうしてですか」と聞いたうえで議会議員として受け止めて行動していかねばならない。先ほど議長が議運としてどうするかと言われたが、皆さんからある程度まとまったものを出してもらっていたら議運では協議をする。議員は個々の意見と町民が思っている分を可能な限り。例えば、北木議員に言う人と私に言ってくる人は違うと思う。そういう方たちから聞いたことを可能な限りその場で議論していただき、ここに持ってきていただきたい。漠然とした意見をぶつけられて、あとは議運に任せるとなると、議会運営上そんなに簡単に捉えられないと思う。今日の意見については、議長が議運でと言われたらそれは受ける。

加来議長：今、議会運営委員長から答弁があったが、具体的な方法があれば提言してほしいということも踏まえて質問・意見等あれば伺う。

口田議員：議会報告会はこれでもいいと思う。いろいろ言いたいのは意見交換会の方で、これをどういうふうに進めていくかを聞いてから話を進めてはどうか。意見交換会は議員でも一町民としてお互いに意見を交わそうという方向でもいいし、そのためには一つのテーマをつかって、例えば「プールは建てなおそうとしているが、皆さんどう感じるか自由に討議してください」という意見交換会でもいいと思う。意見交換会と報告会を少し離してはどうか。一緒にすると議員に対する文句を言うという中身になってしまうこともある。そこら辺を研究してほしい。

加来議長：口田議員から、報告会は報告会、意見交換会は過去にもやったが、意見交換会ということでテーマをもってやった方がいいのではないかという提言があった。

北木議員：中島委員長が言われたことはそのとおりでと思う。政策・提言については議員がやり、議会として何かをやるということではないというふうになっている。ただ、御影の参加者が言っていた政策について、もう少し個々の議員の踏ん張りも含めて、もっと自分なりに勉強してやってもらいたいし、そういうことのできるような議会であったほしいということで、議会に求められている部分がある。報告会で政策提言をする、しないという議論ではないと思う。具体的な報告会をやるということに関して、例えば芽室町でやっているワークショップを組み入れたり、議会改革に関しての意見をもっている大学の先生を呼び講演をするなどもやっているのだから、これをいきなり真似するかは別として、何らかのことを考えなければいけないと思う。口田議員が言われた、分離に関しては僕も賛成です。議会報告会と意見交換会は分けて物事を考えていくべきだと思う。その時の進行のあり方については議運で検討していただき、今までどおりのやり方でもいいと思う。報告会に関して言えば、私が一町民だった時に思ったことは「決まったことは決まったことだ」ということではなく、案中に対して解雇的説明をしてほしいと思った。議員の個人的な意見を言うということではなく、賛成・反対意見がこうであり、議会の中での常識でまとめていただき、そのことを町民に納得してもらえようような報告会を考えなければいけないと思う。意見交換会は意見交換会として、もっとぎっくばらんのできるような仕組みづくりや年に1回でもいいのかなということも考えなければいけないと思う。

原議員：去年から2年間行っている議会報告会について、御影の方で清水が1名しかいなかったのが努力をさせていただいたという話もあったが、私も地元について声をかけたが、結果として1名というのを見ると、全く受け止めてくれなかったという認識をしている。それはなぜか、常々言われているのは、この議会報告会は議会で決めたことについて報告をし、個々の議員の考え方についてはどうにかに抵抗している町民もいると受け止めている。町民だから何でも言えればいいということではなく、自分の考えをしっかりと持ち、「私はこう思うがどうか」ということで、言いっぱなしではだめだと言って怪しい雰囲気になったこともあるが、そういうことがあって、町民としては議会議員にそれぞれの考えを聞きたいという意見が昨年を見ても多いという受け止め方を私ましているのだから、この部分について町民に周知ができ、議員との懇談がしっかりとできて、それがしっかりと議会に反映されるような方法を考えた方がいいと思う。言ったって議会で決めたこと以外でしょと言うので、先ほど言ったように「このことについてこう思うが、どうですか」という言い方をしたら司会も受け止めて答弁してくれると言ったが、結果的に足を運んでくれなかったという面があるので、やはりその辺にあるのかなと私は判断する。方法としては2年間やったことを踏まえて、もっと聞いて町民の意見を聞けるようなかたちをつくるべきだと思う。

加来議長：今、原議員の方から提言があったが、原議員は意見交換会を重視すべきで報告会はしなくてもいいということですか。

原議員：議会報告会に来られている方の多くは広報誌も見ているので、そのことについて相当期間が開いてから聞いてもなんだろうという意識になっていると私は認識している。

加来議長：報告会は必要ないということですね。

原議員：範囲が広がって、今まで顔を出したことがない人がどんと来たりすると困るので、その辺に段階で大きな事案だけ報告をし、その後町民の意見を聞くという形の方がいいのではないか。

木村議員：この2年間の中で中身が読み取れない。一つは議会報告会に制約があるので、意見交換とはある意味異質

のものが一緒になっている感じがする。去年と今年の参加人数的には非常に少ない部分もあったが、出された中身を見ると1回目よりも2回目の方が主催する側の趣旨に沿った方向性の意見があるのではないかと感じはしている。これからどう持っていきたいのかということで、2つを分けた方が分かりやすいのではないかなという思いがあるが、自分自身の結論が出ていない。成果部分でいくと2回目は内容的に成果が見えている部分がある。今後のあり方は、今出された意見の中でもっと深めながら組み立てて、早い段階で議会として次回の方向性をはっきり明示していく必要があるのではないかと感じている。

加来議長：先週の芽室町や鹿沼町は意見交換会を報告会も絡め、議員を4人グループに分けて各地で意見交換会をやっている。その結果を報告会で報告するというやり方もある。皆さんの方でそういう方が多いということであれば、もっと意見を出していただき、どのような方向性なのか意見を出していただき議員の方で議論しやすくなると思うので、積極的に意見を出してほしい。

北村議員：明確な案をもっているわけではないが、御殿地区で「北村議員はペケレベツ川の仲はあれで納得しているのか」という意見があり、それについては「議会としては個人的な意見を述べる場ではないので、できません」と言ってしまうと欲求不満的なものが残る。そこら辺は議員としての良識の範囲以内で回答はしないといけないのではないかと感じた。

加来議長：議員としての意見を述べられることも必要だと思うという意見だが、今までは13人公平ことなれど非問的に無理だということまで踏んできた部分もあるが、議会としての報告会ということではそういうことはしないようにしてきたが、提言として受け止め、そういう機会も必要だと思うことだと思うが、他に何か。

原議員：北村議員が言われたことと連動するが、合同墓の関係で町長といろいろと働きかけて、結果的に町長は将来的には必要だと思うと答え、私が「将来とはどのくらいのことを将来と言っているのか」と聞くと「2、3年先」ということになって止まっているが、このことについての関心が多く、町民の方から「町長のところに行くのに同席してほしい」という話があった。私が「あなたが町長と話をしたければ、単独で行った方がよい」という話をしたが、町長のところに議会議員を連れて行けば何とかなるという錯覚を町民はしていたり、あるいは「数が多くの方が町長も問題意識を持つと思う」とまで言われた。このことについて、町民はわかっているけれども、進んでいない部分について、私と絶えず町側とも話をしているが、パイプが詰まってしまうと年齢も高いので焦っているのかつらく当たってくることもある。議員としてはそういう面も配慮して考え、しっかりと発言をしていかなければいけないと思うので、その辺をどの議員が受けても対応できるような方法を含めて考えた方がよいのではないかと気がします。

加来議長：各提言に対して、議員個人はそれぞれの考えがあると思う。町民の対応に議会として答えられる部分、議員個人で対応しないといけない部分と当然あると思うが、意見交換会でもし出れば対応していかなければならない状況になってくると思う。議会報告会・意見交換会を始めたきっかけは議会議員の理解をしていただくということを目的にしていたのと、町民からの意見交換会等により資質を上げていくということが大きなテーマで、それを前提に議会報告会・意見交換会をしようということを書き添えておき、取り組んできている。今出された提言では、意見交換会は意見交換会としてやり、報告会も時間を短縮しながら理解をしていただくことも含めてやっていくべきという意見が多かったと思うが、議運委員長、今聞いていた中で検討していただきたいと思うが、何か意見はあるか。

中島議員：議長の方から諮問的な部分で受け付け議員としては検討させていただく。資質向上のひとつにその場で議員として説明をできるものはきちんと説明をしたうえでなければという部分で、ある部分では持ち上げて実行できなかった執行側がということになってしまう。町民から見たらストレスがたまる。事前いろいろと話し合いをした上で持ち上げるのでは少し違う。それらも含めて、議会運営委員会のそれぞれの委員と意見交換をして方向性を見出ししていきたいと思う。

加来議長：反省総括についてはこれで終わる。今後、議会運営委員会の方で皆さんから提言があり、方向性を出していく上で、皆さんにその結果を報告しながら進めていきたい。

(4) その他

加来議長：(4) のその他、何かあるか。

(なしとの声あり)

加来議長：私の方から1点、人口減少問題について町の方からいろいろと審議会等を開いてアンケート調査をしているようです。8月中旬に御歩状況等を含めながら全員協議会を開きたいと思う。皆さんも何か意見があればそのときに出してほしい。

臨時会から長時間こわたり、全員協議会の開催にあたりご協力ありがとうございました。これで全員協議会を終了させていただきます。ご苦勞様でした。

【終了 13:56】